西洋史籍講読1A－Ⅰ

科目ナンバリング　HEA-209
選択必修　　2単位

1. 授業の概要（ねらい）

イタリア・ルネサンスの古典から、ダンテとマキアヴェリの作品を読む。
ダンテ「神曲」は中世ヨーロッパ最大の叙事詩で、古典古代の伝統とつながるだけでなく、当時のフィレンツェやローマ教皇に対する厳しい政治的批判をも含んでいる。マキアヴェリ「君主論」は、権謀術数を意味するマキアヴェリズムで知られるが、中世の理想君主論を脱して冷徹な現実から出発し、イタリアにおける国家権力のあり方を模索して、近代政治学の出発点とみなされる。
これらの読解を通して、人間と政治社会のかかわりを、当時の歴史的背景に照らして考察する。

2. 授業の到達目標

テキストの一字一句を厳密に読み、歴史的背景をふまえながら、その意味を正確に理解できること
提示された論点について自分なりの解釈をまとめ、グループ討論で積極的に意見を交わせること
以上を通して、日本語を読む・書く・聴く・討論する・発表するという、日本語の総合的な運用能力を高めること

3. 成績評価の方法および基準

毎回の予習課題の発表、およびグループ討論と全体発言における積極性による

4. 教科書・参考文献

教科書
ダンテ　「神曲・地獄篇」　河出文庫
マキアヴェリ　「君主論」　中公文庫

5. 準備学修の内容

次回のテキストの範囲を読み、予習課題を必ずこなしてくること
発声練習を自宅で毎日行うこと

6. その他履修上の注意事項

次回のテキストの範囲を読み、予習課題を必ずこなしてくること
発声練習を自宅で毎日行うこと

7. 授業内容

【第1回】　夏休みの読書発表
ダンテとその時代・「神曲」入門
【第2回】　地獄篇（1）ダンテとウェルギリウス
【第3回】　地獄篇（2）地獄の門と三途の川
【第4回】　地獄篇（3）ダンテと古代詩人の伝統
【第5回】　地獄篇（4）フランチェスカとパオロ：愛欲は罪か
【第6回】　地獄篇（5）フィレンツェ批判・フィレンツェの党派政治
【第7回】　（オンライン授業）
地獄篇（6）オデュッセウス像の革新
【第8回】　地獄篇（7）ローマ教皇批判・中世カトリック教会
【第9回】　マキアヴェリとその時代
「君主論」は何のため、誰のために書かれたか
【第10回】　第1～6章：国制の分類・武器なき預言者サヴォナローラ
【第11回】　第7～10章：理想の君主チェーザレ・ボルジア
【第12回】　第12～14章：マキアヴェリの軍制改革と軍隊論
【第13回】　第15～18章：君主の美徳と悪徳について（その1）
【第14回】　第19～23章：君主の美徳と悪徳について（その2）
【第15回】　「私のマキアヴェリ語録」発表会